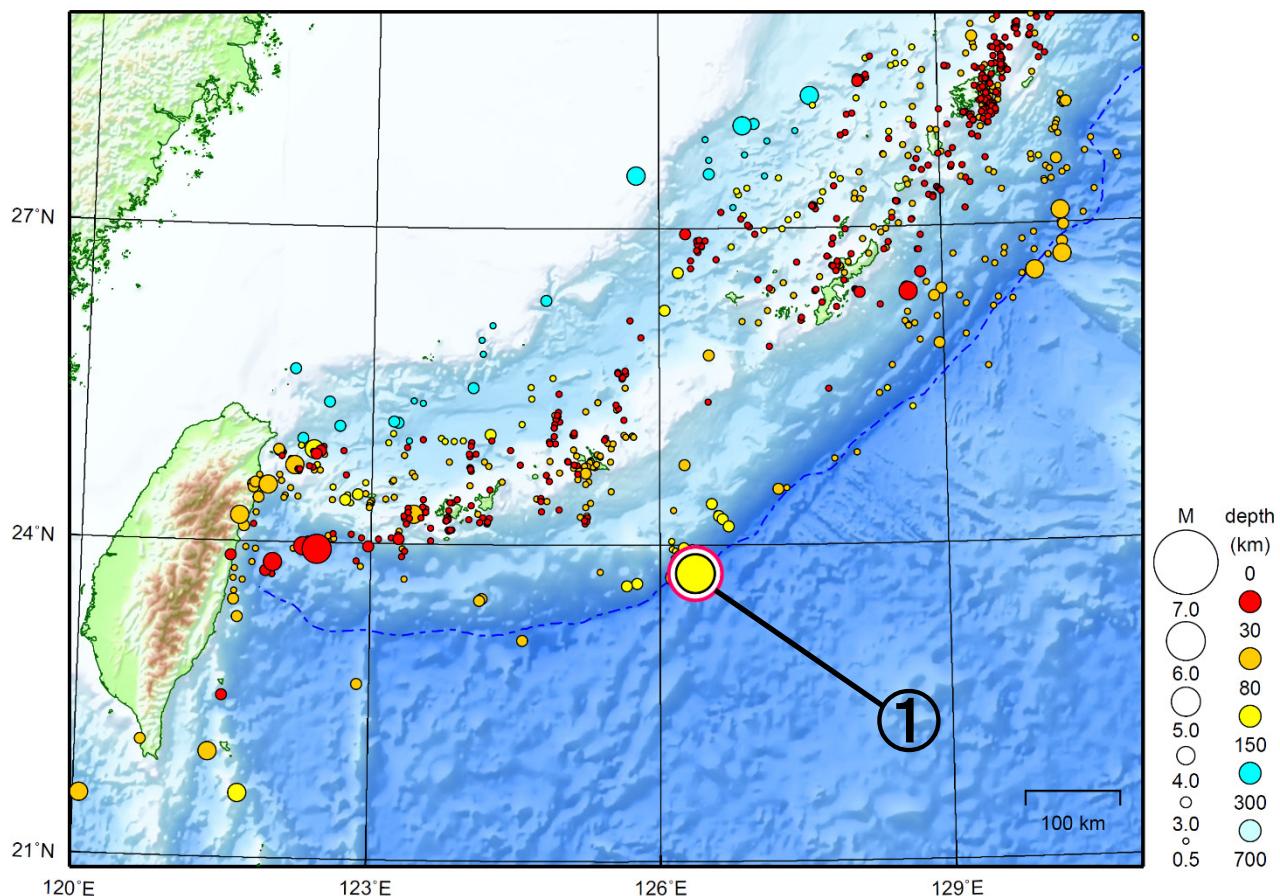


# 沖縄地方

2021/11/01 00:00 ~ 2021/11/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- ① 11月11日に宮古島近海で M6.5 の地震（最大震度3）が発生した。

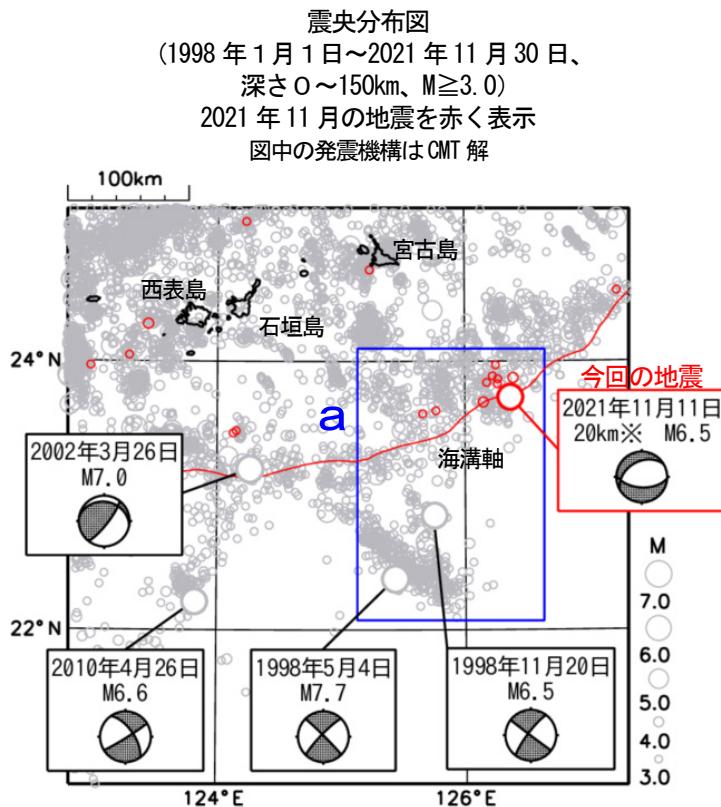
情報発表に用いた震央地名は[沖縄本島南方沖]である。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 11月11日 宮古島近海の地震

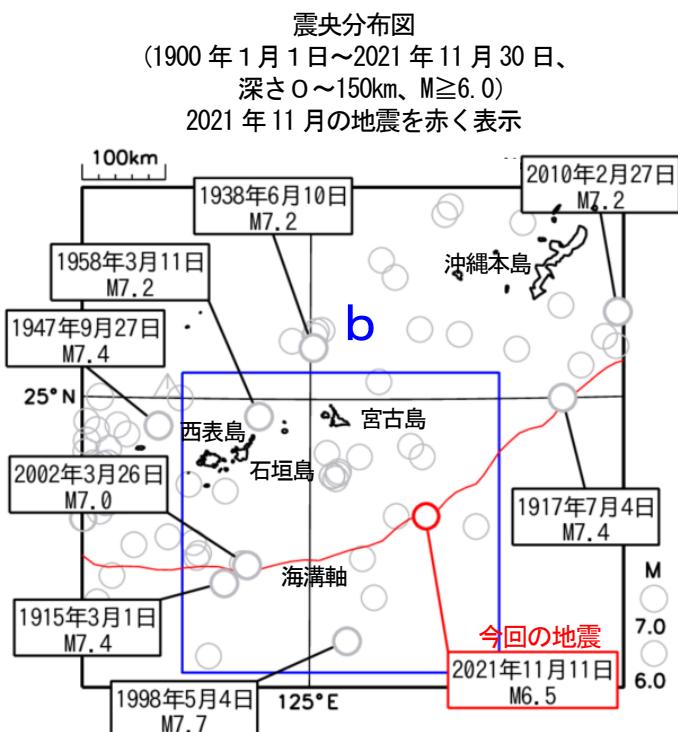
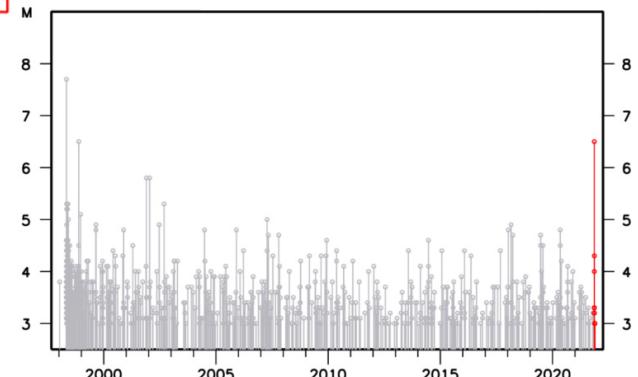
情報発表に用いた震央地名は〔沖縄本島南方沖〕である。



2021年11月11日00時45分頃に宮古島近海の深さ20km (CMT解による) でM6.5の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が南北方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

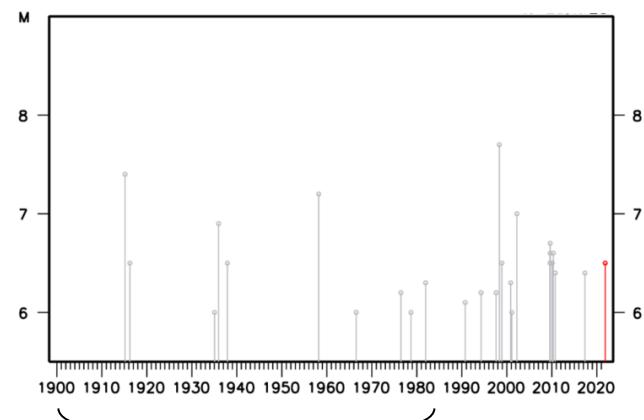
1998年1月以降の活動をみると、この地震の震央周辺(領域a)では、M6.0以上の地震が3回発生しており、このうち、1998年5月4日のM7.7の地震 (最大震度3) では、那覇、与那国島久部良で微弱の津波を観測した。

領域a内のM-T図



1900年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M7.0以上の地震が4回発生している。このうち、2002年3月26日に発生したM7.0の地震 (最大震度1) では、与那国島久部良で6cmの津波を観測した。

領域b内のM-T図



※宇津徳治 (1982) : 日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表 : 1885年～1980年, 震研彙報, 56, 401-463.

宇津徳治 (1985) : 日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表 : 1885年～1980年(訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642.

茅野一郎・宇津徳治 (2001) : 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第2版, 朝倉書店, 657pp.